

KG JOURNAL

関西学院通信 [関学ジャーナル]

特集

Special

世界市民を育む、学びがある。

いよいよ夏到来！ 就職活動への挑み方 —先輩の体験・企業のホンネ—

数字でみる関学

関学生の留学生や外国人教員との接触度

突撃！KG CLUB

関西学院ゴスペルクワイア“Power Of Voice”

2015.7.1
248号



学長の ポケット レポート

絶対評価

4年生の学生にとっては、いよいよ就職活動が山場を迎える時期になります。「自分のやりたい仕事は何なのか」「自分はどの職業に向いているのか」「第一志望の企業にうまく就職できるのか」「どの企業を最終的に選べば良いのか」など、多くの迷いや不安と向き合いながら就職活動を続けていると思います。

今年は特に、企業の採用活動の方法が大きく変わったために、例年以上に、就職活動で迷うことが多いのではないかと思います。就職活動がうまく進まず苦しい状況に直面することもあるでしょう。周りの友人が早く内々定をもらったりすると、余計に焦ったりもします。

ここで少し考えてほしいことがあります。それは皆さん一人ひとりの個性が違うという事実です。当然のことながら、友人と自分とは個性も資質も異なるわけで、企業との相性も大きく異なってきます。就職とは結局のところ、自分と企業とのマッチングです。皆さんの人格や人間性の評価では決まていないのです。就職することが最終目標ではなく、就職活動は人生の一つの通過点でしかありません。

だからと言って、就職活動が重要でないとやっているではありません。むしろ、全力で就職活動に向き合ってほしいと思います。自分と将来を見つめ、自分の生き方を思索する絶好の機会だからです。もちろん、これまでに経験したことのない胃が痛むような状況に追い込まれることもあるでしょう。その時こそが正念場です。人は苦境や逆境に立たされたときにこそ、大きく成長します。周りの状況に振り回されることなく、「昨日よりも今日の自分が成長しているか」「勇気をもって新しい一歩を踏み出したか」という自分に対する絶対評価を基準に就職活動を乗り切ってほしいと心から願います。

(学長・村田 治)

表紙へ

(水本 千晶さん
社会学部3年生)



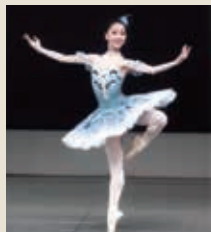
5月に神戸文化ホールで開催された「第28回こけい全国洋舞コンクール」のクラシックバレエ部門女性シニアの部で3位に輝いた。将来、プロとして踊ることが夢だ。昨年12月の「第9回エデュケーション」ではシニアの部で優勝し、選抜メンバーとして4月

にパリへ研修に行った。パリでは、プロのバレリーナからマンツーマンで教えを受けた。細部にまでこだわる世界のトップレベルを体感し、「表情や上体の動きなど表現力を磨く必要がある」と自身の課題を見つけた。

3歳からバレエを開始。小学4年生の時にソロで舞台に立ち、バレエにのめり込む。現在は週6回のレッスンに加え、休みの日もビデオを見るなどバレエ漬けの日々だ。

「バレエには正解がなく、自分のイメージ通りの踊りに

仕上げていくには努力が必要。簡単ではありませんが、自分の踊りを追求することが魅力の一つですね。今後は多くの人にバレエの魅力を伝えていきたいです」と笑顔を輝かせた。



KG JOURNAL

関西学院通信 [関学ジャーナル]

CONTENTS

No. 248

- 1 学長のポケット
表紙人
- 2 特集
世界市民を育む、学びがある。
いよいよ夏到来！
就職活動への挑み方
—先輩の体験・企業のホンネ—
- 9 特集2
森のキャンパス・千刈キャンプで
自分をみつめ成長しよう！
- 11 ひとひと
- 13 Research & Research
法学部 守屋浩光ゼミ
理工学部物理学科 瀬田益道研究室
- 15 突撃！KG CLUB
関西学院ゴスペルクワイア
“Power Of Voice”
- 17 My favorite KG
ウエルシュー ジャック ハンズさん
(オーストラリア)
GO GLOBAL!
松木 耕さん(経済学部3年生)
- 18 Campus News
私たちの“Mastery for Service”
KG movie
アンガスのLet's TRY!
関学カプセル
学院通信
- 23 世界の街角から
イギリス 小寺 康博さん
- 24 数字でみる関学
関学生の留学生や
外国人教員との接触度
- 25 Libraring
約100カ国の新聞・雑誌が
リアルタイムで読める！
- 26 聖書に聞く
総合政策学部宗教主事 村瀬 義史

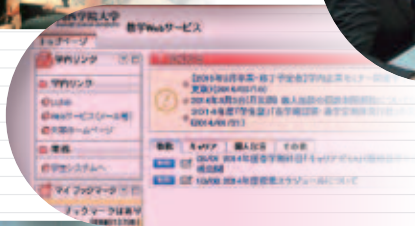
特集 Special

世界市民を育む、学びがある。



いよいよ夏到来！ 就職活動への挑み方 —先輩の体験・企業のホンネ—

日本経済団体連合会（経団連）の「採用選考に関する指針」により、本年度から企業の選考活動の時期が大きく変わりました。夏を迎え、4年生、M2年生はいよいよ採用試験の重要な局面に突入します。また3年生、M1年生にとっては将来を考え、就職活動の事前準備をする大切な時期となります。今号では、OB・OGによる体験談やキャリアセンターの活用術、企業の採用担当者の生の声、3年生とM1年生の夏の過ごし方などを紹介します。



選考開始!

押さえておきたい

7つのポイント

4年生、M2年生はこれからの時期、焦りや不安が大きくなったり、希望する企業や業界に集中すぎて視野が狭くなったりなど、気づかないうちに新たな問題に直面することがあります。そこで内定を得るまでに大切な7項目を振り返り、企業で働くOB・OGに体験談やアドバイスを聞きました。



若佐谷 薫さん
(2013年経済学部卒)

東北電力株式会社

高压での太陽光発電を計画しているお客様の受付業務をしています。お客様への電気の安定供給に貢献できることがやりがい、同時に責任感を持って仕事しています。一つひとつ経験を重ねて、新たな価値を提供できるビジネスマンを目指しています。



丸 祐依子さん
(2014年法学部卒)

THK株式会社

大企業から町工場まで企業を中心に、機械要素部品の営業をしています。自社製品のラインアップは多岐にわたるため、各企業に適した提案を心がけています。実際に販売先の工場などでわが社の製品が稼働しているのを見ると、社会の役に立っていることを実感し、やりがいを感じます。



川井 博史さん
(2013年人間福祉学部卒)

森永製菓株式会社

小売店への営業を行っています。新商品に合わせて定番商品も露出させるために、さまざまな企画やキャンペーンを交えて商談。自分が考えた企画で売り場を作り、目標を達成できるところ以上ない喜びを感じます。また、売り場で子どもがうれしそうに買ってくれることもやりがいです。



北尾 有子さん
(2013年文学部卒)

株式会社阪神ホテルシステムズ ザ・リッツ・カールトン大阪

人事部で新入社員やアルバイトを中心にした社内研修を担当。社員に「ここで働いて良かった」と思ってもらえるように、熱意をもって指導に当たっています。毎日がすごく楽しく、誇りを持って働いています。

1 面接試験&グループディスカッション

面接は企業が最も重要視している採用選考プロセスです。中でもグループディスカッションは初期の選考で実施する企業が増えています。討論のテーマには、その企業の新商品の提案や業界展望、時事問題から多く出題されています。発言内容だけでなく、議論への参加姿勢や他者の話を聞く姿勢も評価対象になります。

キャリアセンターから

採用担当者は、短い時間で就活生についてできるだけ多くのことを知りたいと考えています。「選考される立場」ではなく、「自分を知らせてもらうチャンス」と考えて、明るく誠実に挑み、自分の言葉で話すことを心がけましょう。キャリアセンターが実施する個人面談や模擬面接体験セミナーなどでは、面接トレーニングを行うことができます。個人面談は1回40分、経験豊富なキャリアセンタースタッフと1対1で行います。履歴書、エントリーシートをもとにした面談や面接練習を中心に、就職活動に関することなら何でも相談できます。教学Webサービス内「KGキャリアナビ」の「個人面談予約」から予約してください。



北尾さん

面接は失敗を次に生かすことが大切です。ある企業の面接で「わが社の改善すべき点を教えてください」と聞かれ、WEBサイトで見た情報をそのまま答えてしまい、面接担当者に響かなかったという経験があります。この時、業界・企業研究をした上で、自分の考えを交えることが大事だと思いました。以降、そのことを意識して伝え方を工夫したら、どんどん手応えを感じられるようになりました。また面接では第一印象も大事です。先輩訪問などで憧れる人に出会ったら、良いところを吸収して自分を磨いていきましょう。

グループディスカッションで大切なのは第一声です。開始直後に自分から「こんにちは」「よろしくお願います」と発することで、「よし始まった」というスイッチが入ります。また私はリーダー役が適していると思っていたので、第一声で主導権を握るようにしました。声を出すことは周囲の緊張もほぐせるので、グループとして良い議論ができることにつながります。



2 筆記試験&WEB試験

小学校高学年から中学校レベルのものが多く、限られた時間内でより多くの問題を確実に解答することが求められます。企業ごとの過去の出題実績を事前に調べ、新聞やテレビで時事問題対策をしておくことも効果的です。

丸さん

WEBテストやテストセンターの試験は何度か受験することで、問題傾向や頻出分野が分かってきます。自分が苦手とする問題の対策を練ったことで、解けるスピードが上がりました。採用選考が進むとWEBテストを再度受験する場合があります。急な受験にも対応できるように、対策は続けておきましょう。

筆記試験は与えられた課題に対して、時間内に回答しなければなりません。時間内に答えを出すことは働くことと同様です。だから分からない問題は後回しでもいいので、なるべく多くの問題を回答するようにしましょう。また作文や小論文を実施する企業もあります。ある企業では「あなたの理想の製品を絵で描いてください」という、文章ではない課題もありました。どんな課題でも、まずは一呼吸して落ち着きましょう。そして頭の中で整理して、自分の思いを表していきましょう。

キャリアセンターから

筆記試験は高度な学力を試すものではなく、「意欲があり、事前準備が計画的にできる人物か」を測るためのテストです。多くの人が苦手と感じる非言語分野は小学校高学年レベルの計算問題が主であり、解き方のコツを知っていれば対応できます。本気でその企業を目指している姿勢の証明にもなります。万全の対策をしてテストに臨みましょう。



3 自己PR

エントリーシートや面接試験の多くで問われる項目で、企業は学生の強みや独自性、根本的な考え方を評価します。「これだけは誰にも負けないというものは?」「長所と短所は?」「大切にしている価値観は?」「あなたを表すキャッチフレーズを教えてください」など質問は多様です。うまく伝えることができれば、確実にプラスになります。

キャリアセンターから

企業側は採用において、「優秀かどうか」ではなく「自社で成果を出すための能力や適性を備えているか」を評価基準とします。その評価基準をもとに、人間性を知るため、過去の行動を掘り下げる質問をします。学生側は能力や適性を明示するために、自己分析をしっかりしておいてください。同時に、各業界や企業で求められる能力が何かを把握し、自分の能力や適性をどう生かせるかを明確におきましょう。またエントリーシートや面接で「偽りの自分」を表現して、背伸びをしようとする人がいます。飾り立てることなくありのままの自分をアピールしましょう。

川井さん

自己PRはエントリーシートの段階から始まっています。より良い自己PRの書き方は、まず字数を気にせず面接で自分の魅力について伝えたいことを全て書き、それをもとに字数内に収まるように要約することです。決して、字数優先で自分の魅力を省略してしまうことのないようにしましょう。伝えたいことありきで完成したエントリーシートは、必ず面接でも生きてきます。

また自己PRは「大会で優勝した」「海外でこんな経験をした」など実績をアピールしがちになります。就職活動で大切なのは実績のアピールではなく、その実績を通じて自分がどんな強みを持ち、その強みを将来就職してからどう生かせるかを伝えることです。

自己PRはどの企業でも質問されますし、あらゆる質問の軸になります。一貫性を持って、自己PRをチャンスに変えていきましょう。



4 業界の視野を広げる

希望する業界に集中することは重要ですが、その業界のみに固執しすぎるのはリスクが高くなります。採用選考開始を前にもう一度活動状況を見直し、業界や企業を広く見てみることをおすすめします。

北尾さん



最初からホテル業界が第1志望でした。結婚式、各種パーティー、記念日のお祝いなどお客様の人生の節目に寄り添えることに魅力を感じたからです。しかし、就職活動中は多くの業界や企業を見ました。社風を肌で感じ、企業ごとの違いを知ることは、自分の向き不向きが分かり、新たな可能性がどんどん発見できるからです。

私は1つの業界で最低1つの企業に触れることを目標にしました。合同説明会への参加は効率的で良いと思います。他の業界で得た知識や情報は、第1志望の業界の選考にも生かせることがたくさんあります。

業界を広く知ることは、就職後の仕事にも生きてくるがたくさんあります。自分の視野を広げて成長してください。

キャリアセンターから

客観的な情報源として大学図書館ホームページ内「Webデータベース」が業界研究に活用できます。キーワード検索を利用すると新聞や雑誌の記事情報から企業、業界、ビジネスパーソンの人事情報など横断検索が可能です。就職情報サイトには掲載されていない企業もカバーされており、各企業の財務状況、IR情報、海外進出情報なども収集できます。また「学内企業説明会」や「KGキャリアナビ」では、「関学生を採用したい」と考える多くの企業の情報を得られます。



オススメ!

日経テレコン21

過去30年分の新聞や雑誌記事から国内外の企業のビジネス情報を収録。

東洋経済デジタルコンテンツライブラリー

「週刊東洋経済」「会社四季報」「就職四季報」など主要コンテンツや企業データを収録。優良企業を発見するためのサポート機能もあります。

5 地元就職

「出身県やその近隣に戻って就職したい(Uターン就職)」「地元でも関西でもない特定の地域で就職したい(Iターン就職)」「関西で働きたい(地元就職)」といった考えを持っている人を、ここでは「地元就職」と称して説明します。地元就職を希望する人は、①なぜ地元就職がしたいのか、②採用時期の把握、③求人情報の入手方法の確認、④採用数の把握の4点を意識しましょう。

キャリアセンターから

上記4点について説明します。

▶なぜ地元就職がしたいのか

「地元だから」という理由だけでは通用しません。地元産業の発展や振興になぜ貢献したいのか、地元で何をしたいのかを考えてください。

▶地元企業の採用時期を把握する

従来、企業の採用活動は、首都圏などの大都市圏から始まり、その後、各地域での日程へと段階的に進みましたが、本年度は、大都市圏と地方の採用スケジュールは同時進行の傾向があります。スケジュール管理をしっかり行いましょう。

▶求人情報の入手方法を確認しておく

情報の入手先には、地元のハローワーク、各都道府県や市が運営する就職情報サイト、企業独自のサイトなどがあります。

▶地元企業の採用数を把握する

採用数は全国採用型の企業と比べて決して多いとはいえません。そんな中、関学生のために求人をしていただく地元企業が数多くあります。金融業界の一部の企業(大手証券会社、生命保険会社、損害保険会社等)の支店採用の求人は大学に直接届くケースがあります。「KGキャリアナビ」の求人情報も活用してください。

若佐谷さん

就活をしていくうちに「社会の基盤を担う業界で働きたい」「生まれ育った東北と共生したい」という気持ちが自然と湧いてきました。また電力業界全体が大きく変わっていき時期に、東北に根差す電力会社として果たすべき役割の大きさに魅力を感じました。

就活中はホームページと採用パンフレットで情報を収集。選考ではエントリーシートやSPIテストを通過後、1次選考を京都、2次選考を東京、最終選考を仙台の本社で受けました。

地元での就活で難しかったことは、社員の生の声を聞く機会をほとんどつくれなかったことです。インターンシップにも参加できませんでした。予定が合えば積極的に機会をつくることをおすすめします。

地元就活を上手に行うコツは、移動を楽しむこと、離れてみて感じた気持ちを素直に伝えることです。私は東日本大震災時、西宮にいたのでさまざまな感情を抱きました。皆さんも何らかのきっかけがあって、地元の企業を志望するはずですよ。その気持ちをしっかり伝えてください。



6 首都圏での就職活動



キャリアセンターから

東京丸の内キャンパスではパソコンの利用、就職関係証明書の発行、荷物を預けるロッカーの利用など、首都圏での就職活動をサポートしています。就職活動のピーク時には、夜行バスで到着する学生のために早朝から開室しています。またスカイプを使用した個人面談も実施しています。東京で活動する際は、積極的に利用してください。 ※入館には学生証が必要です。

説明会や役員面接、最終面接は本社のある首都圏で実施されることが多々あります。日程調整、移動や慣れない土地での活動などで苦勞することも多いでしょう。首都圏での就職活動には東京丸の内キャンパスを利用してください。

川井さん

交通手段に夜行バスを使用する人は多いと思います。夜行バスは早朝に到着しますが、面接時間が昼以降という場合は多々あります。そんな時には、東京丸の内キャンパスを最大限に活用しました。スタッフに相談に乗ってもらい、パソコンを利用して他の企業のエントリーシートを書くなど時間を有効に使えます。私は最終面接など選考の終盤で東京に行っていたので、スタッフの方にエントリーシートをもとに面接を想定した質問をしてもらいました。面接直前に準備できたことで、自信を持って挑むことができました。

また東京での就活で意識していたのは、面接の1時間前に会場に着くことです。東京では、最寄り駅に到着したのに会場のビルが分からないということがよくあります。早く着きすぎたらカフェで面接の準備をしておけばいいだけです。ギリギリになって焦ることがないように、余裕を持った行動を心がけましょう。



7 大阪梅田キャンパスの活用

就職活動中の関学生同士が情報交換の場としても有効に活用しています。10階にキャリアセンター、14階にはパソコンスペース、学生が集うラウンジや証明書発行機があります。積極的に活用してください。



キャリアセンターから

7月以降も「就活なんでも相談」を開催します。採用選考開始を迎えるにあたり、新たな疑問や不安、聞いてほしいことがある人は多いと思います。事前予約不要で出入りは自由です。実施日時を確認し利用してください。「学内企業説明会」も随時開催します。情報は随時更新されますので、「KGキャリアナビ」を確認しましょう。

丸さん

大阪梅田キャンパスで最も活用したのは企業説明会です。同じ会場で、1社当たり1時間程度のコンパクトな説明を受けられることは、時間のない就活中には本当に効率的でした。また自分の知らない有力企業の説明会がたくさん実施されているので、企業との出会いの数は数えきれません。出席者は関学生だけなので、少人数で企業の採用担当者と接することもでき、質問やアピールがしやすい環境です。ある企業の面接で、採用担当者から「大阪梅田キャンパスでの説明会に来てくれた学生さんですよ」と覚えてもらっていたこともありました。

隙間の時間には友人と他企業の情報を交換もしました。それぞれの就活スタイルに合った形で、大阪梅田キャンパスを活用してください。



参考にしよう!

採用担当者のリアルな声

採用・選考活動について

- ▶ 最終面接では志望度や本気度を重視。
- ▶ 「わが社のファンである」という域を出ていない学生が多く、評価のしようがない。
- ▶ ストレス耐性を確かめたいので、面接ではあえて答えにくい(厳しい)質問をして反応を見ている。よって、エントリーシートに記載されていない質問をすることがある。
- ▶ ゼミや研究室での活動など学業について掘り下げると、思考力や論理的に説明する力がよく分かる。
- ▶ 留学経験から英語を武器にする学生が多いので魅力に欠ける。グローバルに活躍するために必要なタフさや考えの異なる人の意見に耳を傾けつつ自分の考えを伝えられる力など、経験をアピールしてほしい。

今の学生の傾向について

- ▶ 志望動機がマニュアル的で、業界・企業研究ができていない学生が多い。
- ▶ 関西の学生は元気だが、地元志向が強いのが気になる。
- ▶ 男子学生よりも女子学生の方が元気。
- ▶ 関東の学生と比べて、関西の学生は準備不足を感じる。

キャリアセンターでは毎年、各業界のリーディングカンパニーや多くの関学生が進路として決めた企業・団体の採用担当者の意見や採用活動に対する思いをヒアリングしています。採用活動上ではめったに聞くことができない採用側のホンネを知ることが、就職活動をする上で必ず参考になります。関学生の採用を積極的に考えてもらっているからこそその意見やアドバイスです。参考にしてください。

求める人間像について

- ▶ 自分の言葉で主張できる。
- ▶ どんな環境でもやり切れる力がある。
- ▶ 論理的思考がある。
- ▶ ストレスに強い。

関学生・関学卒業生について

- ▶ 母校愛が強い。
- ▶ 元気がよく、バランス感覚がある。立ち居振る舞いがスマート。
- ▶ もっと必死さやガツガツしたところが欲しい。
- ▶ 筆記試験の合格率がかなり低い。関学生は魅力のある学生が多く、面接でより多くの学生に会いたいが、筆記試験で落ちてしまうのは残念。

キャリアセンターからのメッセージ

採用選考に挑む4年生、M2年生は、次の3つを意識してください。
1つ目は5ページでもお伝えしたように、企業や業界の視野をなるべく広げることです。就職活動は自分にマッチする企業を見つけ出す作業とも考えられます。今まで聞いたことのないようなB to Bの企業や中小企業の中にも優良な会社はたくさんあります。そのような企業と出会うために、四季報などを使って客観的に企業データを収集するとともに、先輩訪問などを積極的に行って自分の感覚で仕事のやりがいや社風を確かめてください。
2つ目は大学に届く求人情報の積極的な活用です。すでに多くの求人が届いていますが、例年、内々定が出されるピークの時期を過ぎた後も、大手や中小を問わず大学に対してのみ求人を出す企業はたくさんあります。このチャ

ンスを逃さず、自分の可能性を広げましょう。

そして3つ目、面接が本格化すると、「自分ではきちんとPRしているつもりなのに結果につながらない」と壁にぶち当たることもあるでしょう。そんな場合は、第三者のアドバイスを聞き、客観的に自分の面接を振り返ることが効果的です。キャリアセンターの「個人面談」等を利用して課題を発見し、克服していきましょう。

就職活動で行き詰まったときは、キャリアガイダンスで配布した「就職活動ハンドブック」を読み直したり、気軽にキャリアセンターに相談に来てください。

企業の採用活動は夏で終わりではありません。ぜひとも最後まで諦めずに納得がいくまで頑張ってください!

保証人の皆様へ

就職活動は学生自身が自分の意思で将来を決める重要なプロセスです。「大手企業に入ってほしい」「この企業は駄目」など、親の理想や考えを押し付けないように注意が必要です。

もしお子様が迷ったり悩んだりしているときには、社会人の先輩としてさりげなく話を聞き、最終的に本人が自ら進路を選択できるよう

に導くことが大切です。実際に就職活動を経験した卒業生からは「親が自分の意思を聞き、尊重してくれたことが一番ありがたかった」という声をよく聞きます。

落ち込んでいるときや疲れたときなど、どんな状況でも一番の味方となって、温かく見守るような心がけていただければ幸いです。

3年生、M1年生へ!

インターンシップと 筆記試験対策で有意義な夏を

3年生とM1年生は、2016年3月から企業の採用広報活動が開始される見込みです。まだ時間に余裕があるこの夏の過ごし方が、その後の就職活動に大きく影響します。インターンシップへの参加や筆記試験対策に取り組み、有意義な夏を過ごしましょう。

インターンシップ

インターンシップとは将来のキャリアを考えるための就業体験です。任された業務に働いている人と同じ視点で関わることで、社会人として必要な能力を把握し、自分の人生設計を考える上で伸ばすべき点や向いている業界を考える貴重な機会になります。昨今では民間企業をはじめ、各省庁、自治体、各種団体でも盛んにインターンシップを実施し、大学生の就業体験の機会を広く設けています。多くの企業が夏(6~9月ごろ)と冬(1~2月ごろ)に実施しています。

目的と利点

- ▶自分の進路について、具体的な問題意識を持つことができる。
- ▶将来のロールモデルとなる人に出会ったり、社会人としての人脈がでたりする。
- ▶就職後のミスマッチを防ぐことができる。
- ▶大学で学んだことを現場でアウトプットに結び付けることができる。
- ▶企業や仕事内容などの具体的な情報が得られる。

情報収集

教学Webサービス内「KGキャリアナビ」、各企業や団体のWEBサイト、マイナビやリクナビなどの就職情報サイトに掲載されています。「KGキャリアナビ」は関学生にぜひ来てほしいと考えている企業の情報が豊富ですので、随時確認してください。

インターンシップは多様な経験ができるだけでなく、情報収集、書類選考、面接など実際の採用選考と同様のステップを踏むので、早くから就職活動について考える機会にもなります。また、自分が何に向いているのか分からないという人には、自分の興味や可能性を発見できる機会になり、今後の就職活動の幅が広がります。研究や部活動などで時間が取りにくい人は、1日だけ開催されるインターンシップに参加することもできます。積極的に参加し、自分の成長につなげましょう。

進め方

- ① エントリー**
WEBサイトからの応募や説明会への参加などでエントリーし、その後エントリーシートを提出するのが一般的です。インターンシップの実施は大学3年生の夏季休暇に設定していることが多いため、エントリーの時期は6月と7月に集中します。
- ② 書類選考**
受け入れ先企業や団体が、提出されたエントリーシートをもとに選考を行います。
- ③ 面接**
企業や団体によっては、書類選考に加えて、面接試験を行う場合があります。
- ④ 参加決定**
選考を経て、インターンシップ参加生が決まります。

筆記試験対策

面接試験に進むための登竜門ともいわれる、選考において非常に重要なステップです。早めの対策が重要で、対策をした分だけ必ず結果が出ます。例年、この対策を後回しにした結果、いざ就職活動で忙しくなる時期に対策ができておらず苦戦したという声は少なくありません。キャリアセンターのプログラムを活用して着実に準備しましょう。

キャリアセンターが実施する筆記試験対策 (2017年3月卒業・修了予定者対象)

SPIテストセンター 模擬試験

テストセンターでのWEB上の試験を無料で受けることができます。実際に、本番のテストセンター試験で初めて受験し、制限時間や操作方法など試験内容以外の部分に焦ってしまい、本来の実力を出し切れなかったというケースが多々あります。「KGキャリアナビ」から模擬試験を体感し、今後の対策に生かしましょう。



筆記試験対策 フォローアップセミナー

近年主流であるSPI・玉手箱の形式について、実際に問題を解きながら分かりやすく解説するセミナーです。特に関学生の多くが苦手意識を持つ非言語の分野に重点を置き、出題頻度の高い問題へのアプローチ方法を詳しく伝えます。

※筆記試験対策の詳細スケジュールは、「KGキャリアナビ」の「お知らせ」に随時掲載します。

自分を見つめ成長しよう!

キリスト教主義に基づく野外教育の実践の場として開設された千刈キャンプは、今年で60周年を迎えます。日常から離れたの集中的な活動と自然の中での生活を共有することで、ゼミ活動や親睦などに加えて、環境やチームワーク、リーダーシップなどをテーマに実践を通じた教育活動を展開しています。千刈キャンプで行われている「セルフビルドプログラム」を紹介します。



「キャンプで大切なのは、“ほわっ”とした空気づくり。立場に関係なく、失敗も笑える。成功も喜べる。喜怒哀楽を共有できる空気をつくってほしい」と話します。



CIEC国際交流キャンプ

新 入生の外国人留学生と彼らをサポートするインターナショナルパートナーの学生とのつながりを深めることを目的に国際教育・協力センター(CIEC)と千刈キャンプが共催で実施。CIEC職員の大谷協子さんは、「セルフビルドプログラムが始まった途端、学生たちの緊張でガチガチの顔が生か生きと輝きました。言葉、国籍、学年関係なく、次々と課題が与えられ、それをクリアしないとイケない状況に追い込まれます。間違っても、できなくても、それを恥じている時間もなければ責める人もいない。留学生もパートナー学生もチームの中で自分がどんな行動をとれるか、必死になります。日本語・英語禁止の時間もあり、中国語や韓国語で“せーの”ってどういうの?”1、2、3”は?など、意思疎通を図ってパニックウォークに挑戦していました」と話します。

「初対面の人ばかりで初めは仲良くなれるか不安でした。たった2日でこんなに強い絆ができるとは思いませんでした」と田中里彩都さん(商学部2年生)。その後も参加者同士でランチ会などを実施し活発な交流が続いています。



【パニックウォーク】 数本の木の上に全員が乗ったまま、ゴールまで歩く。全員が同じ木に足を乗せているわけではないので、声をかけたり、体を支え合わないとゴールにたどり着けない。



千刈 キャンプ から

千刈キャンプスタッフ

森本 崇資さん

カナダをはじめさまざまなキャンプ場などで、コミュニケーションスキルアップのプログラムを提供してきた。

千刈キャンプは宿泊施設や研修室を備えた関西学院が所有する施設で、どなたでも利用できます。セルフビルドプログラムは、ゼミやクラブなどのニーズに応じて内容のレベルを変えることもでき、千刈キャンプが企画から進行まで引き受けることも可能です。学びの一環として、グループのメンバー同士の関係づくりやリーダーシップ研修にぜひ、ご利用ください。出前プログラムも可能です。問い合わせは、千刈キャンプ事務局(☎079-563-5233、Eメールcamp sengari@kwansei.ac.jp)まで。
※セルフビルドプログラムは有料プログラム(1,000円/人(2時間程度)、10人以上~)です。

関西学院千刈キャンプ 兵庫県三田市香下1817-1
HP▶ http://www.kwansei.ac.jp/f_sengari/index.html
Facebook▶ <https://www.facebook.com/CampSengari>



セルフビルドプログラムとは？

スポーツやビジネスの世界でもチームビルディングにおいて高い効果が認められているA.S.E. (Action Socialization Experience: 社会性を育成するための活動体験) に基づいたプログラム。

内容はシンプルで、「話しやすいように聞く」「聞きやすいように話す」というルールを守りながら、出された課題をクリアしていきます。ただし、「スパイダーウェブ」や「パニックウォーク」のようにどれも一人

では決してクリアできないように考えられており、失敗や成功をする中でさまざまな感情を得ることができます。プログラムを提供する千刈キャンプスタッフ (NPO 法人ナック) の森本崇資さんは、「コミュニケーション

ゼミ合宿



社会学部の関嘉寛教授のゼミでは、「セルフビルドプログラム」を組み込んだゼミ合宿を実施しています。「ゼミでは共生をテーマに研究していて、フィールドワークをよく行います。知らない人に会い、話を聞くことが多いので、対人関係を築いたり、言葉の大切さに気づいたりすることは重要で、このプログラムが有効」と関教授は話します。「セルフビルドプログラムを通して仲間のいい所、悪い所を直接見るという経験、また共通の経験をすること自体がその後のゼミ活動を円滑にしていると実感しています」

ゼミ生の岡秀和さん (社会学部3年生) は、「スパイダーウェブは、体を持ち上げたり持ち上げられたりというダイナミックな活動で、一人ではできないことに皆で意見を出し合って取り組みました。普段、体を使ったコミュニケーションの機会はなかなかないので、ゼミのみんなとの距離が近くなりました。プログラムを通して、互いを思いやったり、人に委ねたりすることの大切さにも気づけました。人とのつながりについてじっくり考える機会になったので、日々の生活やゼミで生かしていきたい」と振り返りました。

↑ 【スパイダーウェブ】 ロープの隙間を触れることなく通り抜ける。通り抜ける場所、順番、姿勢など仲間で相談し、力を合わせないと失敗する。



スリランカの子どもたちに バレーボールの楽しさを!

沢田 賢吾さん

人間福祉学部4年生



関

学大の海外ボランティアプログラムで昨年10月から3月までスリランカへ派遣され、現地の小中学生らにバレーボールを指導する活動に従事した。

中学時代にバレーボールを始め、大学でも体育会バレーボール部のレギュラーとして活躍。3年生の秋に海外ボランティア参加を決意した。

現地ではスリランカ教育省が推進する「子どもの体力増進運動プログラム」のボランティアとして、学校の授業や放課後の部活動でバレーボールを指導した。同国には体育の授業がない学校が多く、運動不足から子どもの約20%が生活習慣病予備軍といわれており、そのような状況を

解決するのも活動目的の一つだった。

授業は現地のシンハラ語で行い、折り紙や日本の歌謡曲を教えるなど文化交流にも力を入れた。「言葉を感じるだけで大変でしたが、子どもたちと歌ったり踊ったりすることで良い関係を築くことができました」と振り返る。

バレーボールを知らない子が多かったが、熱心な指導を繰り返すうちに楽しさが生徒たちに浸透。学校を挙げてバレーボール大会を開催してくれるまでになった。「自分なりにいろんな貢献ができることを実感できました。今後いろいろな形で国際貢献していきたい」と手応えを感じている。

勉学に、スポーツに、趣味に一。
さまざまな分野で一生懸命に頑張るKGビープル。
きらきらと輝く横顔を紹介する。

汗ジミ対策商品の開発で ウーマン・オブ・ザ・イヤー2015入賞

ラ

イオン株式会社で商品開発を担当し、2014年に汗ジミ対策を打ち出した「Ban汗ブロックロールオン」を商品化。5カ月で250万個を売り上げ、各界で最も活躍した女性たちに贈られる日経WOMANの「ウーマン・オブ・ザ・イヤー2015」で入賞した。

「前を向いて頑張っていたら、かきつといることがあるはず」と信じて頑張ってきた10年間。その言葉の意味を今回の入賞で実感している。「次なるヒット商品を全社を挙げて開発したい」と笑顔で語った。

受賞について「私一人ではなく、これに関わったみんなの賞です」と笑顔で語る。

入社後、仙台オフィスに初の女性営業職として配属。「ここで認められなければ、開発部門に呼ばれることもないだろう」と言い聞かせて頑張った」と振り返る。そして3年後、本社へ転属。関学出身の憧れの先

横手 莉加さん

2005年経済学部卒



重い蹴りを武器に全日本2連覇 空手界のチャンピオンを目指す



小野寺 天汰さん

商学部1年生

4

月に東京で開催された「第30回ポイント&

K.O.全日本空手道選手権大会（無差別級）で、自分より重い巨漢選手を下して2連覇を達成した。

ポイント&K.O.とは、防具を着用せずに素手・素足で自由に攻撃できるフルコンタクト（直接打撃制）ルールの流派の一つ。手による顔面攻撃以外の攻撃を認めている激しい格闘技だ。

身長181センチ、体重72キログラムの体格と長い手足を生かした重く鋭い「蹴り」が得意技で、同大会の決勝では90キログラム近くある相手に手数で勝り、ダメージを与

え続けスタミナを奪って判定勝ちした。

師範をしている父親の影響で、4歳から空手を始めた。もっと強くなりたいという思いに突き動かされ、稽古に没頭する日々を過ごす。父親と二人三脚でさまざまな試合で結果を残し、とにかく空手をするのが楽しくて仕方がなかったという。

さまざまな流派が乱立している空手の世界。その中で、「空手を知っている人全員に小野寺が日本一、世界一だと言われるように、いろいろな大会にチャレンジしていきたい」と闘志を燃やす。

ひとひと

病をきっかけに生を意識 死生学を学ぶため来日

馬 伯翰さん

人間福祉学部3年生

留 学生として人間福祉学部
に入学し、死生学の研究に
励む。

北京出身。3歳で白血病にかかり、生死をさまよった。闘病生活中、家族や知り合いの牧師とのおしゃべりに勇気づけられる。困難な手術を乗り越え、半年間で病を克服した。

幼かったため病名を知らずに成長したが、中学2年生で白血病を患った過去を知る。「事実を知り、死に対して恐怖を抱いた」と生きる意味を意識し始めた。

「学部で勉強した後は、大学院に進学して死生学を徹底的に研究したい。将来は中国の大学で死生学の第一人者となり、若者に死生学を教えたい」と夢を抱く。

高校卒業時に、WEBサイトで人間福祉学部の死生学を知った。「中国には死生学という学問がない。日本に渡り、死と生の意味につ

いて追究したいと思いました。日本語が一切できないながら、関学大の門をくぐった。





法学部
守屋浩光ゼミ

江戸時代の法や裁判の実態を明らかにし 庶民の利益実現の手法を探る

研

究分野は法史学です。江戸時代の法や裁判について、大きく二つの分野を研究しています。

一つ目は、江戸時代の一般庶民がどのように裁判制度を使って自分たちの利益を実現したかを明らかにしています。商人を例にしましょう。八百

屋や酒屋など、商人は自分が扱う分野ごとに組合をつくっていました。新規参入により商売敵が増えることは、組合の構成員には不利益になります。各組合は自身の利益を守るため、幕府に新規参入の禁止法をつくってもらった陳情をしました。また団体としてまとまって申し入れることで、幕府の「切羽詰まった事情があるのだらう」という感情に訴え、新法の

実現率を上げる手法も実践していました。このように一般庶民が用いた訴えのテクニックも解明しています。二つ目は、幕府や諸藩がつくった規範や裁判制度の実態を明らかにすることです。そのために全国各地で史料を探し、分析や調査を行って

います。もっぱら武士が政治権力を握っていた江戸時代には、武士が自分たちの利益だけを考えて政治を動かして

いたと思っている人は多いかと思いますが、研究を進めるにつれて、実際は武士がかなり一般庶民の利益を考えていたことがわかりました。また庶民も積極的に自分たちの利益を得るため、より効果的な手段を考えて訴えを起こしていました。

「誰も知らないことが分かる！」これが研究の醍醐味です。また研究は自分にはできないことを世間に発信していくことでもあり、社会の

発展に貢献できます。私が取り組んでいる、発掘した史料のネット配信や古文書の翻刻刊行など時代に即した研究資料の提供もその一つだと思っています。

研究や教養は用語だけ覚えても意味がありません。学生には一つひとつの背景を理解し、一歩先の知識を深めてほしいですね。また多様な視点を持つために、好きな分野以外の教養も身につけてほしいです。



守屋 浩光 教授

島原・天草の乱におけるキリスト教と法を読み解く



蔭山 愛海さん
法学部4年生

守屋ゼミのテーマは「江戸時代の日本法史」です。私は「江戸時代のキリスト教と法」に注目し、島原・天草の乱に関する法律を研究。禁教令やバテレン追放令などキリシタンを迫害する法律が関係します。さらに読み解いていくと、鎮庄に向かった武士が武家諸法度を遵守したことで、結果的に乱の長期化につながったことがわかりました。鎮庄を長引かせてしまった武士には、領地の没収など法律に則って処分が下されています。

他にも古文書を読み、刑罰の種類や基準を調査しています。死刑・禁固刑、市中引き廻しなど、想像以上に刑罰が細分化されていることがわかり、どんどん興味が湧いていきます。

守屋ゼミは日本史好きの集まりです。遠慮せず、次々に鋭い質問をして、互いに高め合っています。



理工学部物理学科
瀬田益道研究室

天体からの電波を受信する機器を開発 南極に天文台の開設を進める

研

究テーマは「電波天文学」です。天文学は古くから存在する学問の一つで、電波天文学は天体からの電波を観測する天文学の分野です。

電磁波は波長で分類されます。私は電波の中でもサブミリ波と呼ばれる波長域に興味があります。

このサブミリ波はフロンテ

イアとされる領域で、可視光や赤外線では見られない宇宙初期の暗黒銀河を見るのが期待されています。私は天体からのサブミリ波を受ける高感度の受信機を開発しています。

しかし、この受信機を使ってサブミリ波を観測する場所を探すことは非常に困難です。それは空気中の水分の吸収を受けてしまうので、空気が薄く乾いた場所以外では観測できないからです。観測に適していると考えられる場所は、

ハワイのマウナケア山頂や南米のアンデス高地などですが、

満足な条件は得られていません。そこで、共同研究者たちと一緒に南極に天文台を開設する準備を進めています。沿岸にある昭和基地から約千キロ内陸へ進んだ先には約4千メートルの高原地帯があり、最低気温はマイナス80度。観測には最適な場所です。

私は今年4月に着任したばかりですが、関学大は学生の



瀬田 益道 教授

勉強・研究環境が非常に恵まれていると感じました。そのせいで、勉強熱心な学生が多く見受けられます。

電波天文学は、今までの関学大理工学部では専門的に設けられていなかった新しい分野です。関学大を南極天文学の拠点とし、好奇心に満ちあふれた学生たちと一緒にフロンティアを拓いていきたいです。

星間物質を観測し星形成の謎を解明する



谷向 俊樹さん
物理学科4年生



岡村 豪さん
物理学科4年生

宇宙に興味があつて物理学科を選びました。1〜3年生の時は宇宙について深く学ぶ機会がありませんでしたが、電波天文学を教えることができる先生が赴任することが分かり、迷うことなく瀬田研究室に進みました。研究室は学生2人と瀬田先生の合計3人。英語の研究論文の読解は難しいですが、小規模な研究室なので先生がきめ細かく指導してくれます。

今は研究に向けた勉強が中心ですが、卒研では星の形成機構を調べます。私たちは電波望遠鏡の観測データを計算機を使って解析します。未知なことはありますが、今後は調べている内容を掘り下げていければと考えています。

関西学院宗教音楽委員会に属する音楽団体です。2000年に5人の部員で発足し、今年で16年目を迎えました。現在は37人で活動しています。

突撃! KG CLUB *by KGB*

このコーナーでは、KGB総部放送局が記事と映像で、部活動に励む関学生のイキイキとした姿をお届けします!

（ 関西学院ゴスペルクワイア “Power Of Voice” ）

“Power Of Voice”とは

主な活動は、大学の式典やチャペルアワーでゴスペルを歌い奉仕することです。春にはヌーンコンサート、秋には大学祭、冬にはクリスマスコンサートも行っています。また地域のフェスティバルや施設でも歌声を披露するなど、学内外問わず、さまざまな形で演奏活動を実施。2008年からは関学での結婚式でも歌っています。団体名でもある“Power Of Voice(声の力)”を大切に、ゴスペルを通して神を賛美するとともに聞いている人に少しでも笑顔を届けられるように日々活動に励んでいます。



Power Of Voice用語を知って POV通になろう!

- MD**…ミュージックディレクター。合唱の指導をとり行う役職
- お祈り**…本番前や練習後に円を作り、神様へのお祈りをする時間。全員で行う
- ボブ遊び**…公式にハイキングやホームパーティーを主催する。メンバー同士の仲を深める楽しいイベント



インタビュー

三谷 昌之さん 法学部3年生(左)
 渡邊 佳奈さん 文学部3年生(中)
 本山 真名さん 神学部3年生(右)



Q、皆さんの特色は何ですか？

三谷 Power Of Voiceは選曲や歌の指導を含め、学生が主体となつて一つの曲を作り上げています。「チャペル巡回」として春学期と秋学期に各学部のチャペルアワーで発表したり、年に数回は学内でコンサートを行っています。これが他の合唱団体にはない魅力です。

Q、ソロパートが毎回変わりますね。どのように決めているのですか？

本山 選曲後、立候補で希望者を集め、オーディション形式で決定しています。ソロは緊張します。でも、どうやらうまく歌えるかを試行錯誤したり、メンバーと共有しながら曲を作り上げていくのはやりがいがあります。

Q、メンバーの雰囲気はとうですか？

本山 メンバーはフランクな人、おとなしい人、リーダーシップのある人などさまざまな人がいて、みんなが一緒に活動できるクラブです。また歌詞が英語ということもありグローバルな雰囲気があります。歌詞は英語ですが、みんな歌詞の意味を共有し、考えながら歌うことができます。

渡邊 笑顔で楽しく歌えるように環境づくりを大事にしています。とにかくみんな楽しんでますよ。音楽経験がない人も多いため、何かに打ち込みたい人や大学生活を楽しみたい人であれば、Power Of Voiceはぴったりです。



取材レポート

関西学院コスベルクワイア“Power Of Voice”に突撃！チャペルアワーでの活動、練習の様子、代表へのインタビューなど普段の様子に迫りました。迫力ある歌声にもご注目ください。

動画もCHECK!!

↓映像はこちらから



練習日

火曜の昼休み(12時50分～13時20分)、金曜16時50分～20時

活動場所

吉岡記念館2階研修室1

部員数

男子▶8人
 女子▶29人

顧問

打樋啓史・社会学部宗教主事



KGB総放送局

関学大で唯一の放送団体。アナウンス、ドラマ、技術、制作、報道の5パートに分かれ、昼休みの放送、番組制作、イベント音響などさまざまな活動を行っています！興味のある人は、「関学 KGB」で検索！

HP→<http://www.everyday-kgb.com>
 Facebook→<https://m.facebook.com/KGBbroadcast>
 Twitter→<https://twitter.com/KGBbroadcast>



My favorite KG

ウエルシュー ジャック ハンス



WUERSCH, Jack Hans さん
(南オーストラリア大学 交換留学生)
オーストラリア出身



◀ 留学生 WUERSCH, Jack Hans さん

関西弁の響きや漢字の奥深さ 日本語は面白い!

— 関学大に留学した理由は。

関学のウェブサイトできれいなキャンパスを見て、「ここで学びたい!」と思いました。オーストラリアに桜はないので、関学の桜の写真には感動しましたね。日本語の授業が整っていることも魅力でした。

— 授業はどうですか。

日本語で日常会話、文法、漢字などを学んでいます。ひらがなカタカナはパッチリなのですが、漢字は難しすぎます。正直、マスターするのはムリです(笑)。それでも漢字は面白くて、やめられません。今後は授業のレベルが上がるので楽しみです。

— 日本語の面白さを教えてください。

関西弁の響きが好きです。「ここにおでー」はよく耳にします。最初は理解できませんでしたが今はかなり慣れました。女の子が語尾に「やん」をつけて話しているとかわいいですね。同じ読み方なのに、字や意味が複数あることも興味深いです。時々、漢字で書くことが無駄じゃないかなと疑問に思っています。例えば「おれ」という字。日本では、「おれ」「オレ」「俺」というように、ひらがな、カタカナ、漢字を使い

分けていますが、漢字は画数が多いので「俺」はいらないでしょ。ひらがなカタカナで意味は十分伝わります。ただその奥深さが魅力的です。

— 関学生の雰囲気はどうですか。

関学生はいつもリラックスして勉強しているイメージです。オーストラリアの大学生と雰囲気は似ています。オーストラリアの大学には部活動がほとんどないので、大学同士で大会があるなんてすごいと刺激を受けています。特に学ラン姿の応援団はカッコいいです。

— 関学大で好きな場所は。

レストランの「OFF TIME」です。安くおいしい!最近ビッグボロネーゼにハマっています。ほかの大学の食堂はこんなにメニューがないので、関学はメニューが豊富で楽しいです。

— 夢は何ですか。

日本で英語の教師になることです。明るい雰囲気やトークで生徒と交流し、面白くて頼りになる人気の教師になりたいです。

— お国自慢をどうぞ。

スポーツが盛んです。ラグビーとクリケットが人気ですが、一番はオーストラリアンフットボール(AF)!オーストラリア発祥のスポーツで、アメフトよりもラグビーに近いです。リーグのファイナルになると、国内がAF一色になります。ゴールシーンの盛り上がりはすごいですよ。また、オーストラリア人はフレンドリーでトーク好き。オーストラリアに行ったら、「Don't be shy」でどんどん話しかけてください。みんな優しくしてくれます。あっ、あとはオージービーフ!神戸牛も負けてないけど、オージービーフが世界一かな!

— 最後に好きな日本語を教えてください。



ラーメンです。日本食が好きで、特にラーメンが大好き。とんこつ味は絶品です。ラーメンという文字は、どこの街に行っても看板などで目にします。たまたま「らあめん」とひらがなで書いている店もあってユニークです。

GO GLOBAL!

日米間の問題を研究するNPOで多様な価値観にふれる

フルデンシャル財団の奨学金を受けて、米国・ワシントンセンターの学生インターンシッププログラムに参加し、今年の1月から5月までワシントンD.C.の日米研究インスティテュート(USJI)に派遣されました。USJIは、日米の産官学関係者が政治・経済・金融などさまざまなテーマで日米間の問題を研究するNPO機関です。

私はそこで、週4日インターンシップ生として働きました。仕事は主に情報収集で、現地のビジネスセミナーに参加し、TPPや安全保障問題など、最新の時事問題をテーマにした議論や発表を聞いてレポートにまとめるというものでした。シンクタンクの研究員や商社マン、日本大使館の職員の方々と話す機会も多く刺激的でした。

毎週金曜日にはワシントンセンターが提供するキャリア教育の授業を受講。ここでは韓国、中国、インド、ブラジルなど同世代の学生らとディスカッションしたり、世界銀行などを訪問したりして、「働く」意味や価値について学びました。

国が違うだけで、職場文化や男女の働き方についての意識が違ったり、同じ国でも世代間で仕事に対する意識が違ったりして、多様な価値観を知ることができました。

社会問題についての知識不足からうまく意見が言えず苦しい思いもしましたが、逆に自分がいる人と打ち解けて話す力を持っていることに自信もつきました。

今後は大学院なども視野に入れて、国際情勢についてもっと学んでいきたいと思っています。



インターンシップ企業訪問の様子、後列左から5番目が松木さん→

The Washington Center
フルデンシャル財団地球市民プログラム
松木 耕さん
(経済学部3年生)
派遣国 ▶ アメリカ合衆国





澤田 彩加さん

(教育学部4年生)

チアリーダー部

私たちの
“Mastery
for
Service”

全てのエールが貴重な経験に

私は応援団総部チアリーダー部ドルフィンズの部長として活動しています。入学式でキラキラ輝く先輩たちの笑顔に強くひかれ入部し、チア漬けの充実した日々を過ごして4年目となりました。

私たちドルフィンズの主な活動は、体育会の試合応援、入学式やオープンキャンパスといった大学の行事、学内外からの依頼活動、地域のイベントなどさまざまです。夏と冬には単独公演も行っています。

2015年度のスローガンは「With You」。この「You」にはたくさんの意味が込められています。共に成長していくチームの

仲間はもちろん、勝利に向かって頑張る体育会の選手、目標に向かって頑張る方々、そして私たちの演技を観てくれる全ての方々です。そんなたく

さんの「You」の一番近くで、勇気と元気を与えられるようなパフォーマンスを目指し、日々の練習から全力で取り組んでいます。

最近で最も心に残っている活動は、5月5日に行ったイベント「そんなあなたを応援します」です。毎年5月に神戸市長田区の鉄人広場で開催しているもので、応援団総部に「エールを受けたい!」「後押ししてほしい!」という一般のお客様からエール希望者を募っています。神戸市長田区の震災復興のため、街の活性化のため、目標に向かって頑張る方々のために送るスペシャルステージです。今年は震災復興について学びに来ていた福島の学生にも急きょエールを送りました。人々を励ますと同時に、私たちが明日へと進む元気や勇気をもらいました。

このようにさまざまな場所で貴重な経験ができることは、決して当たり前ではありません。今後も感謝の気持ちを胸に、笑顔をお忘れず、チアリーダーらしく活動していきたいと思っています。

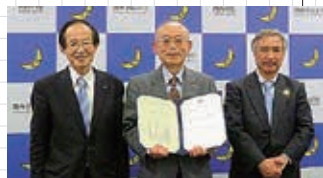


美野久志・元商学部教授が初の関学フェローに就任

美野久志・元商学部教授が4月、関西学院大学フェロー(以下、関学フェロー)第1号に就任しました。

関学フェローは、国内外の学会、実業界、政界、官界等において特に顕著な貢献がある者で、教育・研究等に関わる特定の活動に参画します。

美野・関学フェローは、住友商事株式会社での勤務を通じて国際貿易の実務を経験し、



2004年4月から12年3月まで商学部教授として国際商務論、国際取引法を担当しました。今後は、東京における関学大のビジネス関係セミナーや研究会などに参画します。

ソフトテニス部男子が関西学生リーグ7年ぶり優勝

「平成27年度関西学生ソフトテニス春季リーグ戦(1部)」が5月3日、大阪府マリントennisパーク北村で開催され、関学大ソフトテニス部の男子が7年ぶりのリーグ優勝を果たしました。

主将の富山祥太郎さん(社会学部4年生)は、「次の選手につなぐ意識を全員が持てたことが勝利につながったと思います。シングルスとリーグ戦で関西制覇を達成したので、次のダブルスでも



優勝して関西の3タイトルを取り、全国大会でも団体3位以上を目指します」と話しました。

藤沢武史・商学部教授が日本貿易学会の会長に就任

商学部の藤沢武史教授が、約500人の会員が参加している日本貿易学会の第26代会長に就任しました。2015年6月1日付けで、任期は2年。藤沢教授は国際マーケティング戦略を研究し、日本貿易学会に長く携わってきました。

藤沢教授は「日本貿易学会は2015年に55周年を迎えました。長い伝統、優れた会員を背景にさらに躍進を続けられるよう貢献したいです」と話しています。





法学部と経済学部の連携授業で 今村岳司・西宮市長が講義



今村岳司・西宮市長が5月8日、西宮上ヶ原キャンパス第5別館で開催された法学部と経済学部との連携コースの「地域政策入門A」に登壇しました。

この授業では、近隣の首長をゲストスピーカーとして招き、地域政策の担い手の役割と、それを取り巻く法的・行政的な制度や仕組みの理解を目的としています。

今村市長は、西宮市の沿

革や地方自治法などに触れながら、市長や行政の役割である住民の福祉の増進について熱く語りました。また、行政経営していく上で必要となる科学的・数学的証明や重要な考え方について話しました。

最後に、学生に対し、「何かをやらうとすると、自分がやらうとすることは何なのかを追求し続けることが大切。これからは考える学びを続けてほしい」と話しました。

アジアの経済活力を取り込むには— 東京商工会議所との共催セミナー開催



東京商工会議所会員でもある関学大と同会議所の共催セミナー「人民元とアジア通貨の活用で、アジアの活力を取り込む」が5月18日、東京丸の内キャンパスのあるJR東京駅サピアタワーで開催されました。

同セミナーは、特命理事(東京丸の内キャンパス代表)の平松一夫・商学部教授と美野久志・関学フェローの働きかけにより実現したもので、東京における情報発信の一環として実施しました。

ビジネスマンを中心に約210人が参加。基調講演では、

後のパネルディスカッションでは日本を代表するメガバンク3行(みずほ銀行、三井住友銀行、三菱東京UFJ銀行)の執行役員(三井住友は常務執行役員)を加えて、美野・関学フェローのモデレートの下、世界経済の成長センターと位置づけられるアジア・中国の経済活力を人民元とアジア通貨を通じていかに日本のビジネスに取り込んでいくか、特に金融面での人民元の重要性、アジア通貨と企業活動拡大との関係性などについてディスカッションしました。

なお、東京商工会議所との共催セミナーは今後シリーズ化し、継続的に開催します。



関学大YouTubeでは、研究、学生生活、行事など学内の様子が分かるさまざまな動画を配信しています。ぜひご覧ください。

Koji Namba [KG FACES]

各分野で活躍する学生や教職員を紹介するインタビュー動画「KG FACES」の中から、難波功士・社会学部教授の動画を紹介し、難波教授は日本のサブカルチャーについて解説しています。
<https://www.youtube.com/watch?v=3dz4jEDQOHs>



関学大YouTube <https://www.youtube.com/user/KGPublicity>

KG★グルメ

BIG PAPA (西宮上ヶ原キャンパス)

メガチキンおろしカツ丼

BIG PAPAで、長年人気を集めているチキンおろしカツ丼! その大盛り版として名を連ねるのが「メガチキンおろしカツ丼(510円)」です。たっぷりアツアツのご飯の上に、ジューシーなチキンカツが3つ! 大根おろし、ざざみのり、ネギがトッピングされ、甘いたれとの相性は抜群です。

1000キロを超えて、ボリュームは名前通り「メガ」級! 学生の胃袋をガッツリつかみます! 調理する生協食堂の方によると、意外にも女子学生からも人気だとか。



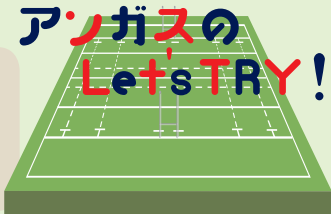


Andrew McCormick
(アンドルー・マコーミック)

ニュージーランド出身。ラグビー元日本代表主将。2012年4月から関学大ラグビー部ヘッドコーチ。愛称はアンガス。

このコーナーでは
アンガスが皆さんの悩み
にお答えします!

アンガスの Let's TRY!



Q

クラブの後輩が
言うことを聞いてくれません、
どうしたらいいでしょう。

Action speaks louder than the word

A

上下関係の悩みだね。ぼくは現役時代も
もたくさん後輩たちを教えてきたけど、その経
験から思うのは、まず「行動で示せ!」ということ。

英語で「Action speaks louder than the
word」という言葉がある。日本語でも同じような言葉「有言実行」があるよね。つまりいくら後輩に「遅刻はするな」「練習をさぼるな」と口で言ったとしても、その本人が遅刻したり、いい加減な練習をしていたりしたら、説得力はないし、後輩も言うことをきくとは思わない。相談者の君がまずは自分の行動を振り返ってみて。

自分がしっかりと行動できているなら、自信を持ってしっかりそれを後輩たちに見せること! すぐに効果は出なくても、毎日その姿を見せ続けられれば、いつか後輩たちも見習わないといけなと思ってくれるはずだ!

ラグビーの指導でも同じことが言える。選手たちに口であーしろ、こうしろと言うよりも、実際に自分が体を使ってプレーを見せる方が随分伝わるものだ。ぼくみたいなおじさんでもこんなガッツあるプレーができるんだって姿を見せると、選手たちも「負けられない!」って顔になる。

クラブ以外の時間で後輩と関わることも大切だよ! ちょっとランチにいくだけで随分と人の見方が変わることがある。環境を変えてその人を見てみると、案外見えなかった良さに気づくことも多い。

あとコミュニケーションをしっかり取るためには、お互い遠慮はしないこと。「Be openhearted!」と僕はよく言っている。一方通行のコミュニケーションは決して長続きしないからね。しっかり心を開いて、本音で語り合える関係があれば、さっさといい関係性が築けるはずだ! さあ君も Let's TRY!

卓球の関西学生リーグで 男子が46年ぶりV・女子も準V



「平成27年度関西学生卓球春季リーグ戦」の最終戦が5月10日、大阪府近畿大学記念会館で開催され、関学大卓球部の男子が立命館大に勝利し、46年ぶりのリーグ優勝に輝きました。

立命館大との全勝対決、関学大は主将の久野徳さん(商学部4年生)のストレート勝ちなどで流れを引き寄せます。3勝2敗で迎えた第5シングルスで田中豪さん(商学部2年生)が3-2で接戦を制し、

優勝を決めました。その瞬間、関学大は歓喜に沸きました。

久野主将は「去年はあと一步のところで負けてしまい準優勝だったので、今回の優勝は本当にうれしいです。練習してきたことを発揮できたことが勝ちにつながったと思います。今後は全国ベスト4と秋季リーグ戦の優勝を目指して頑張ります」と話しました。

また女子も神戸松蔭女子学院大に勝利し、44年ぶりにリーグ準優勝を飾りました。

京都大、大阪大との共催により 高大接続フォーラムを開催

関学大は6月5日、京都大、大阪大と合同で文部科学省後援による「高大接続フォーラム～高校改革・大学改革・入試改革について考える～」を開催しました。

基調講演では、文部科学省大臣官房審議官(高大接続・初等中等教育局担当)の伯井美徳氏が登壇。「高大接続改革実行プランについて～高等学校の教育改革の検討内容を中心に～」と題した講演を行いました。

その後、実際に大学の現場で高大接続・入試改革の取り組みがどのように行われているかを3大学の各副学長が紹介しました。小菅正伸・関学大理事・副学長は「関西学院は創立当初から世



界市民育成をミッションとしてきた」と話し、関学大での特色ある国際教育プログラムなどを紹介しました。続いて尾木義久・関学大高大接続センター次長が、大学教員や海外ボランティアを経験した学生派遣などの高大連携事業を紹介しました。

会場には全国から高校教員など教育に関わる約400人が来場。終了後は活発に質疑応答などが行われました。



日本文化体験や各国ランチフェアなど KG GLOBAL WEEKを開催

関学大は「KG GLOBAL WEEK / 留学フェア・留学生WEEK」を6月8日から12日まで西宮上ヶ原キャンパスで、6月15日から19日まで神戸三田キャンパスで開催しました。

期間中は、関学生や留学生によるトークイベント、関学生が留学生とともに書道や茶道などの日本文化を体験するイベント、留学経験者によるパネルディスカッション、英語力UP講座、コーヒーワーなどを実施。10日に行われた「Cool Japan」トークショーでは、米国、台湾、オーストラリアなどからの留学生が、「日本で見つけたCool(かっこいい)なもの」をテーマに英語で発表しました。

大学生協食堂では、留学生の母国料理を知ってもらおうと「各国ラ



ンチフェア」を実施し、9カ国13種類の料理が登場。前半の1週間はスウェーデンの伝統的家庭料理でアンチョビの入ったグラタン「ヤンソンの誘惑」、大麦と野菜の入った英国のスープ「スコッチブロス」など欧米の料理を、期間の後半はココナツミルクの入ったインドネシアのご飯「ナシレマク」、煮込んだ豚肉をご飯にかけて食べる台湾の「魯肉飯」などアジアのさまざまな料理が提供されました。

佐藤暢哉・文学部教授らの研究が Animal Cognitionオンライン版に掲載

文学部の佐藤暢哉教授およびその研究グループは、齧歯類であるラットが、窮地に陥っている仲間のラットに対して共感し、その苦境から助け出すことを示しました。社会生活を送る上で重要な他者に対する共感の進

化的側面やその神経メカニズムの解明につながる事が期待できます。

同研究成果は比較認知科学雑誌「Animal Cognition」オンライン版に5月12日に掲載されました。

▶論文タイトル

Sato, N., Tan, L., Tate, K., & Okada, M. (2015). Rats demonstrate helping behaviour towards a soaked conspecific, Animal Cognition, DOI 10.1007/s10071-015-0872-2

▶論文タイトル和訳

ラットが水に浸かった同種他個体に対する援助行動を示した

iPS細胞を開発した山中伸弥氏を招き 理系白書シンポジウムを開催

関学大は6月15日、西宮上ヶ原キャンパスの中央講堂で「理系白書シンポジウム 君たちに今、伝えたいこと〜科学者からのメッセージ」を開催しました。創立125周年記念事業。毎日新聞社共催。

シンポジウムでは、ノーベル生理学賞受賞者でiPS細胞を開発した、京都大学iPS細胞研究所長の山中伸弥氏が「強い志が未来を拓く」と題し、基調講演しました。山中氏はiPS細胞開発までを振り返り、整形外科医としての経験や脊髄損傷の患者との出会いなどがiPS研究を始めるきっかけになったこと、アメリカの研究時代の恩師に教わった言葉「人生にはビジョンとハードワークの『VW』が必要」をずっと心に留めて研究を続けてきたことなどを話しました。



を越えていろんな人が一緒になって研究していること、そのような広がりがある研究の幅を広げること、コミュニケーションの大切さなどについて語り合いました。

最後に、遠藤氏は「誰もが大きなビジョンは持てないけれど、小さな目標なら持てるはず。自分がやりたいと思うことを見つけてそれを積み重ねてほしい。その積み重ねが大切」、長田教授は「一つのことでもいいから何かを究めて欲しい。一つのことを究めることができる人は、何でも打ち込みます。また若いうちに感性を磨き、創造力を身につけてください」などと、これから社会へ羽ばたく若者に対してメッセージを送りました。

会場には高校生、大学生、一般市民ら約900人が集いました。



パネルディスカッションでは、株式会社ソニーコンピュータサイエンス研究所の遠藤謙氏、長田典子・関学大理工学部教授、山中氏、元村有希子・毎日新聞デジタル放送センター編集委員が登場。科学の分野では文系理系の壁



関学 カプセル...26

エンブレム

KWANGAKU CAPSULE

これからずっととエンブレムは時計台とともに、学生たちの生活を見守ってくれるだろう。

エンブレムのデザインは時とともに様変わりし、現在はスクールモットー「Mastery for Service」を礎とし、中央には四つのシンボル(新月、聖書、マキキュリーの杖、松明とペン)を配している。新月は中学部を、聖書は神学部、杖は高等商業学部、松明とペンは文学部を表している。

返還された。

経た1989年、エンブレムはその学生のこころから関西学院に

経た1989年、エンブレムはその学生のこころから関西学院に

経た1989年、エンブレムはその学生のこころから関西学院に

経た1989年、エンブレムはその学生のこころから関西学院に

経た1989年、エンブレムはその学生のこころから関西学院に

経た1989年、エンブレムはその学生のこころから関西学院に

経た1989年、エンブレムはその学生のこころから関西学院に

経た1989年、エンブレムはその学生のこころから関西学院に

経た1989年、エンブレムはその学生のこころから関西学院に

経た1989年、エンブレムはその学生のこころから関西学院に

経た1989年、エンブレムはその学生のこころから関西学院に

経た1989年、エンブレムはその学生のこころから関西学院に

経た1989年、エンブレムはその学生のこころから関西学院に

経た1989年、エンブレムはその学生のこころから関西学院に

経た1989年、エンブレムはその学生のこころから関西学院に

経た1989年、エンブレムはその学生のこころから関西学院に

経た1989年、エンブレムはその学生のこころから関西学院に

経た1989年、エンブレムはその学生のこころから関西学院に

経た1989年、エンブレムはその学生のこころから関西学院に

経た1989年、エンブレムはその学生のこころから関西学院に

経た1989年、エンブレムはその学生のこころから関西学院に

時計台とともに
学生を見守り続ける

学院
通信

熱戦を繰り広げた体育大会
中学部の団結力を発揮

関西学院中学部は5月16日、第65回体育大会を中学部グラウンドで開催しました。今年のスローガンは「刻もう 楽しさの目盛」。楽しさの目盛を自分たちの力で満たし、その目盛から楽しさがあふれるくらいの体育大会にしようという思いが込められています。

体育大会は全6チームの堂々とした入場で幕を開けました。午前の部は、6人1チームで棒を持ちコーンを回る速さを競う「KGタイフーン」や2、3年生のリレーなどを実施。応援席からは大きな声援が送られました。

午後の部では、棒奪いや綱引きなど迫力満点の競技を実施。3年生男子による棒上旗取りでは激戦が繰り広げられ、選手の威勢のいい声が飛び交いました。フィナーレは3年生の女子全員で創り上げるダンス。息の合ったダンスが会場を盛り上げました。

結果は接戦の末、D組(緑組)が総合優勝と応援賞に輝き、C組(青組)が応援旗賞を受賞しました。

D組の応援団長を務めた園田悠介さん(3年生)は「最後まで諦めず頑張った結果が優勝につながり、本当にうれしいです。どのチームも1年生から3年生まで全員が全力で応援しました。中学部の団結力を感じる事ができた体育大会になりました」と話しました。



関西学院教育振興会
募金協力をお願い

W・R・ランバスが1889年に創立した関西学院は現在、7つのキャンパスに幼稚園から大学院までを擁し、2万8,000人を超える学生、生徒が在籍しています。

関西学院の教育と研究が長きにわたって発展し続ける原動力となったのは、関西学院教育振興会を通じた皆様からのご寄付です。これまでの温かいお力添えに心から感謝いたしますとともに、本年度も一層のご協力を賜りますようお願いいたします。

2014年度募金状況

2014年度も下表のように多くの皆様からご寄付を頂戴いたしました。ここに深く感謝の意を表します。

関西学院教育振興会会長
関西学院理事長
宮原 明

関西学院教育振興会会長 関西学院理事長
宮原 明
関西学院院長
ルース・M・グルーベル
関西学院副理事長 関西学院大学学長
村田 治
聖和短期大学学長
千葉 武夫
関西学院高等部長
石森 圭一
関西学院中学部長
安田 栄三
関西学院初等部校長
福田 靖弘

	件数	金額(円)
個人	2,579	146,997,998
法人	63	78,115,000
団体	76	137,715,039
総合計	2,718	362,828,037

◎募金お問い合わせ／関西学院法人部校友課 ☎0798-54-6010



読者アンケート & プレゼント



関学ジャーナルのアンケートにご協力ください。ご協力いただいた方の中から抽選で50名様に「KGディズニーファイル シンデレラ」もしくは「KGディズニーファイル ブーさん」をプレゼントします。右記QRコードからアンケートにお答えください。締め切りは2015年9月30日(※)。当選は発送をもってかえさせていただきます。

※お寄せいただいた個人情報はプレゼントの発送に利用し、それ以外では利用いたしません。

◎スマートフォンおよびパソコンの方は
URL→<http://www.kwansei.ac.jp/r/kgjournal/>より
お答えください。

関学ジャーナルへのご意見・ご感想はWEBでも受け付けています。
▼関学ジャーナルご意見・ご感想フォーム
URL→<http://www.kwansei.ac.jp/form/kgjm.html>



The United Kingdom



世界の
街角から

イギリスのダービー大学
で心理学の博士号研

究をしています。研究をする
と同時に教員としての仕事
を頂き、現在は教員陣を率い
てカウンセリング心理学のプ
ログラムをマネジメントして
います。

海外経験を通して感じる
ことの一つは、語学力、文化心
理学、そして、自信が大事だ
ということ。語学力について
は説明不要だと思います。
文化心理学の理解について
は、私自身、アメリカ、イギリ

ス、オランダ等、さまざまな文
化の人たちと生活、研究、仕
事をしてきました。その中で、
その組織内で何が良い／悪い
とされるのかを理解すること

が、そこでの
生活に非常
に役立ちま
した。例えば、
上司の意向
に対して質
問をすること
は、アメリカ
やイギリスで
は良いとされ
ますが、日本
では口答えの
多い奴と見な
されます。リ
スクよりチャ
ンスを優先
させることは、



ダービー大学
カウンセリング心理学
アカデミック・リード

小寺 康博さん
(2006年総合政策学部卒)

ダービー大学オンライン
<http://www.derby.ac.uk/online/>
ブログ「心の理屈」
<http://blog.kokoronorikutsu.com/>

海外生活では 語学力と 文化心理学の理解 自信が大事

が、日本がダメだから他国から学ぶというのではなく、自分や社会をより良くしたいから学ぶという姿勢の方が健全です。心理学でも言いますが、劣等感による衝動は一時的で心のバランスを崩します。自信を持った上で、謙虚に学ぶことがより良い変化につながります。

私は在学中に交換留学をさせていただき、人生がプラスに大きく変わりました。もし海外に興味があるのなら、ぜひチャレンジすべきだと思います。辛いことも多いですが、充実した人生経験になると思います。

アメリカなら良いですが、日本やイギリスでは歓迎されないでしょう。これらは傾向でしかありませんが、慣れない地においてこうした目に見えないルール(価値観)を理解しておくこと非常に有益だと思います。そして、自信。さまざまな

問題を抱えてはいますが、それでも日本はすごい国です。礼儀正しさ、勤勉さ、正確さ等々。これからの日本人はこういった点をもっと自覚し、自信を持つべきだと思います。もちろん、謙虚に他国から学ぶという姿勢は大事です

協定校紹介 The United Kingdom



スターリング大学

University of Stirling

かつてのスコットランド王国の首都であるスターリング市にキャンパスを持つ国立大学です。学生数は約1万1,600人で、創立は1967年。1960年代の英国高等教育拡張期につくられた“New University”です。

広大なキャンパス内には古城や湖などがあり、美しいキャンパスとして知られています。また、スポーツ科学分野での研究が盛んで、ゴルフ場などスポーツ関連施設も充実しています。

1993年に学生交換協定を締結して以来、交換留学や英語研修で数多くの関学生が留学しています。2016年度には言語コミュニケーション文化研究科がダブルディグリー留学制度を開始する予定です。

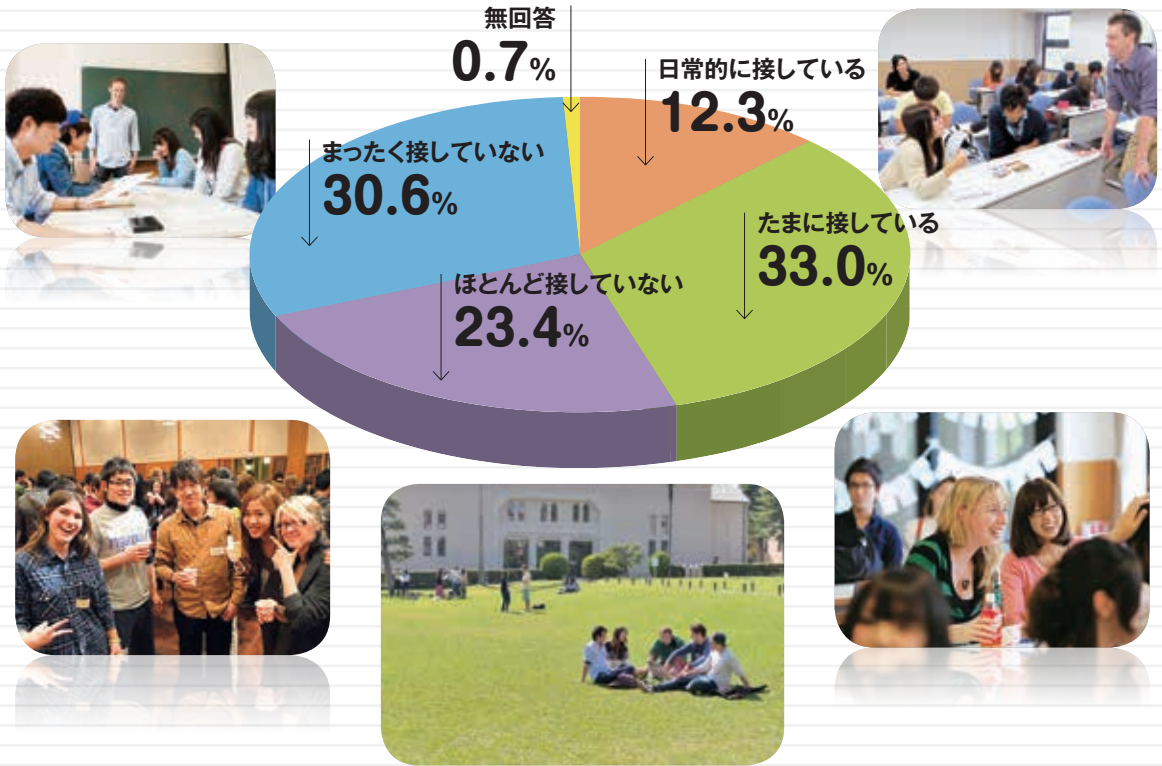
数字でみる 関学

関学生は日頃、どれくらいの頻度で留学生や外国人教員と接触しているのでしょうか。接触頻度について紹介します。

関学生の留学生や外国人教員との接触度

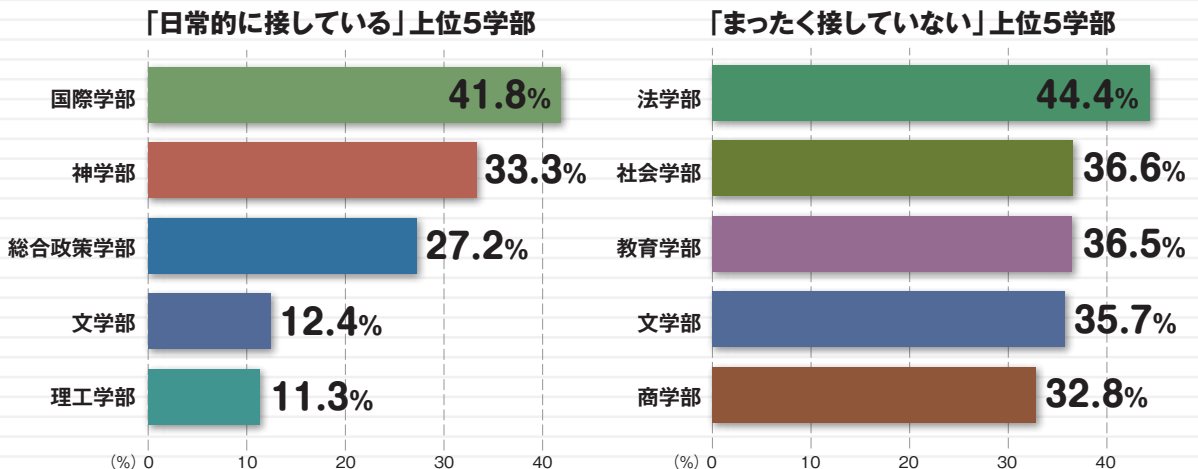
※高等教育推進センターでは、第18回カレッジ・コミュニティ調査を2014年5月～7月に実施し、報告書を15年3月に発表しました。報告書の「関学生の留学生や外国人教員との接触度」から紹介します。

45.3%の学生が日常的もしくは、たまに接していると回答しています。



学部ごとにみると…

所属学部で接触頻度に大きな違いがみられました。この違いは、外国人留学生の数が影響していると思われます。文学部は「日常的に接している」と「まったく接していない」の双方に登場します。これは学部内の学科によるカリキュラムの違いがこの結果に出ていると考えられます。



各学部、言語教育研究センター、国際教育・協力センターなどでは、学生が外国人留学生や教員と接することのできる授業やイベントを設けています。積極的に利用しましょう！



大学図書館ホームページでは、WEBデータベースや図書館活用術など、幅広い情報を分かりやすく紹介しています。教職員の新刊情報も随時更新。「関西学院大学図書館」で検索！

大学図書館の旬な情報をお届け

Libraring

約100カ国の新聞・雑誌がリアルタイムで読める！

西宮上ヶ原キャンパス大学図書館1階、神戸三田キャンパス図書メディア館2階の各新聞コーナーに、外国語新聞閲覧用のタッチパネルディスプレイを1台ずつ設置しました！約100カ国で発行された約60言語、3,000タイトル以上の新聞・雑誌をリアルタイムで読むことができます。

海外のニュースを知りたいとき、海外の新聞・雑誌を読みたいときは、ぜひご利用ください！



press reader

お手持ちのスマートフォンやタブレットにアプリ「PressReader」をインストールすれば、これらの外国語新聞・雑誌を読むことができます。
※ただし、記事をダウンロードする際は、学内ネットワークに接続する必要があります。



※QRコードは、アプリのインストール方法、注意事項などを書いた文書のリンクです。

教職員の新刊

映画とテクノロジー

塚田幸光法学部教授編著
ミネルヴァ書房

映画で読み解く現代アメリカ オバマの時代

塚田幸光法学部教授分担執筆
明石書店

上海租界の劇場文化 混淆・雑居する多言語空間

大橋毅彦文学部教授共編、西村正男社会学部教授分担執筆
勉誠出版

枝下用水史

古川彰社会学部教授分担執筆
風媒社

貨幣と金融政策

貨幣数量説の歴史的検証
平山健二郎経済学部教授著
東洋経済新報社

ケースで学ぶケーススタディ

佐藤善信経営戦略研究科教授監修
同文館出版

輝く子どものいのち

こどもホスピス・癒しと希望
藤井美和人間福祉学部教授共編
いのちのこぼ社

入門・子ども社会学

子どもと社会：子どもと文化
南本長穂教職教育研究センター教授編著
ミネルヴァ書房

地域を基盤とした 子育て支援の専門的機能

橋本真紀教育学部教授著
ミネルヴァ書房

初等・中等 理科教育の研究

井頭均教育学部教授編著

天国での再会

日本におけるキリスト教葬儀式文のインカルチュレーション



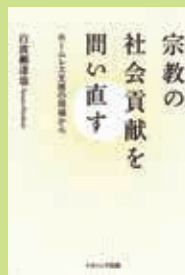
欧米から伝えられたキリスト教葬儀は異質な日本の死者儀礼に出会うことによって変化してきました。死者儀礼は、その地に生きる人々の生活や習俗、家族意識と深く結びつくものであり、宣教の要である一方で信仰の試金石と見なされることもありました。この変化と受容のプロセスをどのように評価するのか。現代のキリスト教葬儀と教会の働きを宣教的・牧会的に問い、これからのキリスト教の宣教の課題について論じています。



中道基夫・神学部教授著 264ページ 日本キリスト教団出版局

宗教の社会貢献を問い直す ホームレス支援の現場から

近年、社会福祉の分権化・民営化の中で宗教的動機に基づく支援活動が顕在化するようになりました。学問分野ではこうした動向を「宗教の社会貢献」という研究視角で取り扱うことがトレンドになっています。しかし、宗教的動機に基づく支援活動は「布教の取り扱い」をどのように評価すればよいのか判断が難しいです。「宗教の社会貢献」の再考を目指す本書は、そのことをホームレス支援のフィールドワークから具体的に論じています。



白波瀬達也・社会学部准教授著 264ページ ナカニシヤ出版

「なすべきことはただ一つ、後ろのものを忘れ、前のものに全身を向けつつ、神がキリスト・イエスによって上へ召して、お与えになる賞を得るために、目標を目指してひたすら走ることです」

フィリピの信徒への手紙3章13,14節

「目標」というと、今日や今週の目標もあれば、数年や数十年というスパンの目標まで、さまざまなのが考えられるでしょう。それでも、私たちが目標という時、おおよそ目の、短期的な視点に立つ目標の場合が多いのではないのでしょうか。長くてもせいぜい数十年。ですから、たとえばスペインの建築家ガウディが、完成まで数百年かかる（1882年着工、現在も建築中の）サグラダ・ファミリアの設計・建築に後半生をささげた話は、私たちにとって非常に魅力的です。

学生生活は、さまざまな「目標」の設定と、達成の積み重ねです。多くの人が、課題に迫られる日々を過ごして

おられることでしょうか。しかし、時々立ち止まって考えてみてください。「なぜ私はこれをしているのか。この目標の達成は、さらに先にある、どのような目標に向かっている達成なのか」と。

創立者 W・R・ランバース先生の言葉が想起されます。「どれほど長く生きてかではなく、何を生きる目的としていたかが重要である。その人が何を為したかではなく、何を為そうとしていたかが問われるのだ」。

人生は一回きりです。生涯をかけてそれに向かつて活動し続けるに値する大きな「目標」を、関学生生活の中で探求してゆこうではありませんか。

編集後記

定期試験が終わればいよいよ夏季休暇！今号で登場してもらった学生に予定を聞くと、打ち込みたいことや挑戦したいことで予定がいっぱい。みんな待ちきれないようだ。学生のみなさんは有意義な夏を過ごして、最高の思い出をつくってください。(よい)

ファン数大学日本一！
関西学院大学Facebook



いいね!



関学大の身近なニュース、キャンパス風景、動画などを紹介。関学大は、Facebook 大学別ファン数ランキングで1位を獲得しています (facenaviより <http://facebook.boj.jp/facebook-university-ranking>)。今すぐ「いいね!」をしよう。

アカウント名 関西学院大学 / Kwansai Gakuin University

守る、 創る、 思いやる ビルへ。



野坂徹夫：画

災害から人々の暮らしを守る。
エネルギーを創り、分けあう。
都市を、そして地球を思いやる。
これからのビルはこうじゃないとね。

想いをかたちに 未来へつなぐ

 **TAKENAKA**